

行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	ダイオキシン削減対策総合推進費	事業開始年度	平成11年度	作成責任者		
担当部局庁	廃棄物・リサイクル対策部	担当課室	廃棄物対策課	廃棄物対策課長 徳田 博保		
会計区分	一般会計	上位政策	廃棄物・リサイクル対策の推進			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	ダイオキシン類対策特別措置法	関係する計 画、通知等	我が国における事業活動に伴い排出される ダイオキシン類の量を削減するための計画			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	「ダイオキシン類の量を削減するための計画」においては、「国は、廃棄物焼却施設等の各発生源別及び排出媒体別のダイオキシン類の排出量の目録を毎年作成し、公表する」とこととなっている。また、ダイオキシン類対策特別措置法第38条では、国は、ダイオキシン類による環境の汚染の防止又はその除去等のための施設の設置又は改善につき必要な技術的助言をすることとなっており、一般廃棄物処理施設の維持管理に当たる技術者に対して、講習を実施するものである。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダイオキシン類排出実態調査 ダイオキシン類対策措置法に基づき一般廃棄物処理施設の設置者が測定するダイオキシン類のデータ等を集計し、対策の進捗状況及び削減状況を把握、公表する。</li> <li>・一般廃棄物処理施設の技術管理者に対する講習会の開催 廃棄物処理施設からのダイオキシン類の削減に向けて適切な維持管理の徹底・方法、処理技術の開発状況及び発注仕様書作成から入札・契約に係る手引きなどの講習会を全国7か所のブロックにおいて実施する。</li> </ul>					
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダイオキシン類排出実態調査 ダイオキシン類排出実態調査は、全国2,327の一般廃棄物焼却炉及び1,719の一般廃棄物最終処分場に対して実施。</li> <li>・一般廃棄物処理施設の技術管理者に対する講習会の開催 標記講習会は、全国7か所(札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、岡山、福岡)において実施し、合計858人が参加。</li> </ul>					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	12	12	12	12	
	執行額	12	11	9		
	執行率	97%	89%	76%		
	総事業費(執行ベース)	12	11	9		
自己点検	支出先・ 用途の把 握水準・ 状況	ダイオキシン類排出実態調査においては、収集データの修正・集計が完了した時点、自治体確認用の資料が作成できた時点、公表用データのまとめができた時点及び次年度用の自治体配布資料が完成した時点で報告を受けることにより現場状況及び進捗状況を把握した。 講習会用テキストは、学識経験者の意見を参考に環境省のチェックのもと作成し、また、7ブロックで行われる講習会には環境省職員が講師として参加するとともに、実施状況を確実に把握した。				
	見直しの 余地	2件の契約においては、引き続き競争性のある契約を実施する。 ダイオキシン類排出実態調査においては、焼却処理技術の進歩によりますます多様になってきた調査内容を効率的に集計できるよう、調査票や記入マニュアルの改良を行い、委託業務内容の効率化を図る。 講習会は、事業の効果を最大限に発揮するため、できるだけ多くの現場技術者に参加してもらうことができるよう、実施時期・場所を検討する。また、講習テキストの内容についても、技術の進歩や現場における課題を把握することにより重点テーマを設定し、効果的な講習内容とする。				
予算 監視 の・ 効率 所見 率						
補 記	○予算繰越(当該年度の前年度からの繰越額) 単位:百万円					
	平成19年度	平成20年度	平成21年度			
	0	0	0			

環境省  
9百万円

自治体データの回収  
データの集約・公表  
講習会テキスト資料作成  
講習会での講演

【一般競争入札】

A.エムズ環境技研(株)  
6百万円

一般廃棄物処理施設管理  
技術者講習会開催業務

管理技術講習会の開催  
講習会テキストの作成  
アンケートの取りまとめ

【一般競争入札】

B.(財)関西環境管理  
技術センター  
3百万円

ダイオキシン類排出実態調査

回収データのチェック  
不良データの確認・修正  
データ集計、解析、分析  
報告書作成  
次年度調査票の作成

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているかについて補  
足する)  
(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の  
 金額が支出さ  
 れている者につ  
 いて記載する。  
 使途と費目の  
 双方で実情が  
 分かるように  
 記載)

A.エムズ環境技研(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	一般廃棄物処理施設管理技術講習 会開催業務	6			
計		6	計		0
B.(財)関西環境管理技術センター*			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	ダイオキシン類排出実態調査	3			
計		3	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0